

【2016年度 後期企画展】

半世紀の歩み

2016
1966



2016. 10.20 | 木 | 2017. 3.22 | 水 |

授業期

[開館時間] 9:20-19:50(平日) 土曜日は17:00まで
[休館日] 日曜・祝日、11/7(日)、11/15(火)~16(水)、1/14(土)
※11/6(日)、11/23(水祝)、12/18(日)は開館します。

学休期

12/27(火)~1/4(水)
2/1(火)~3/22(火)

[開館時間] 9:20-18:00(平日) 土曜日は17:00まで
[休館日] 日曜・祝日、12/29(水)~1/4(木)、2/1(火)~4(金)、
3/3(土)、3/21(火)

※詳しくは図書館HPでご確認いただくか、直接図書館にお問い合わせください。

主催：追手門学院大学附属図書館宮本輝ミュージアム

後援：茨木市、茨木市教育委員会、茨木商工会議所、茨木市観光協会



半世紀の歩み

1966
2016

2016年は、追手門学院大学創立50周年の記念すべき年です。5月29日にグランフロント大阪で開催された記念式典では、大学第1期生である宮本輝氏に、その輝かしい業績を讃え、大学から名誉フェローの称号が授与されました。宮本輝氏はこれに添えて、ユモアを交えた、大学の未来を言祝ぐ素晴らしいスピーチを披露して下さいました。

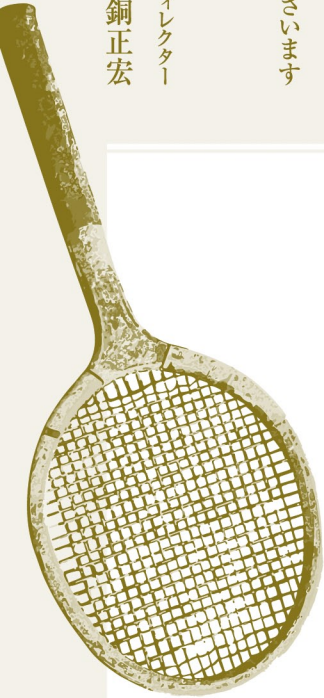
宮本輝ミュージアムでも、この記念すべき年に、50年の歳月を振り返る展示を企画いたしました。写真に残された50年前のキャンパスや、当時の学生たちの姿。宮本輝氏ご自身が写る硬式テニス部の合宿の様子や、テニスコート。当時の学生たちの制服や、木製のテニスラケットなど。一枚一枚の写真、一つ一つの物たちの中に、その時代を生きた人々の思い出が詰まっています。これらを巡覧することにより、この大学に流れた50年という時間を再確認していただければと思います。

一人一人の学生にとっては、たった4年間の大学生活ですが、毎年新しい学生が入学し、ここで学び、卒業するということが繰り返され、大学に流れる時間は先輩から後輩へと引き継がれます。この歴史はさらに未来へと続いていきます。在学生の皆さんは、今、この歴史の流れの最先端に立っています。また追手門学院大学に関わるあらゆる人々が、歴史の流れをより豊かにして下さいています。

ぜひご来場の上、この50年の歴史の流れをご体感ください。よう、心からお願ひ申し上げます。

宮本輝ミュージアムプログラムディレクター

真銅正宏



展示内容

- 〈学生時代〉をテーマにした作品紹介
- 宮本輝氏 青春時代の愛読書紹介
- 追手門学院大学の歴史を振り返る写真展示

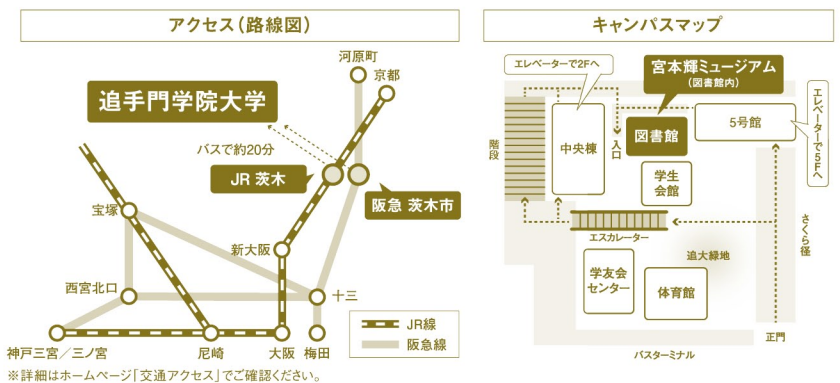
など

追手門学院大学 沿革

1966(昭和41年)	追手門学院大学 開学 (経済学部、文学部)
1995(平成7年)	学部改組転換により経営学部、人間学部設置
2005(平成17年)	宮本輝ミュージアム開設
2006(平成18年)	学部改組転換により心理学部、社会学部設置
2007(平成19年)	学部改組転換により国際教養学部設置
2015(平成27年)	地域創造学部を開設
2016(平成28年)	大学創立50周年記念式典開催

宮本輝ミュージアムについて

宮本輝ミュージアムは、追手門学院大学第1期生で現在も活躍する作家・宮本輝氏とその作品を紹介する場として、2005年5月追手門学院大学附属図書館内に開設しました。宮本輝氏の直筆原稿や、愛用品などを常設展示しているほか、作品をより深く感じていただけるよう、舞台背景の紹介や作品の魅力を伝える展示物などさまざまな角度から掘り下げた企画展を年2回開催しています。



宮本輝ミュージアム(追手門学院大学附属図書館内)

〒567-8502 大阪府茨木市西安威2-1-15 [開館時間] 図書館開館時間に準ずる。
TEL: 072-641-9638 FAX: 072-643-9786 ※詳しくはホームページでご確認ください。
URL: (附属図書館) <http://www.oulib.otemon.ac.jp/>
(宮本輝ミュージアム) <http://www.oulib.otemon.ac.jp/teru/index.html>



おとうもん
追手門学院大学

URL: <http://www.otemon.ac.jp/>